

家庭

子どもの表情や会話、行動に「いじめ」のサインが出ていませんか——。3児の母であり、教育研究所や美旗市民センターで家庭教育講座の講師を務める岡田さんに、家庭での子どもとの向き合い方を伺いました。

「子どもとどう向き合えばいいのか」「すぐに強く叱ってしまう」「兄弟げんかばかりして困っている」。私が講師を務める家庭教育講座の受講者の中には、子育てにさまざまな悩みを抱えている人がいます。

私は皆さんに問いかけます。「心にゆとりを持って子どもと接していませんか」と。笑っている親には、子どもも安心して話ができますよね。まずは、親自身が自分を見つめ直すことから始めていただきたいのです。子どもの気持ちを理解する親の心のアンテナを磨くことで、子どもが発する心のサインが見えてくるはずです。

実際、講座を受講したく中で、親自身の心が安定してくると、「兄弟げんかが無くなった」「子どもが素直に話してくれるようになった」と、子どもも変わってくるんですね。

もちろん、仕事で忙しいという人もいます。でもね、触れ合う時間は量より質なんです。寝る前の少しの間でもいいのです。声かけやスキンシップなど、その子にあった方法で、「愛の充電」をしてあげてください。

ただ、どうすれば、心のゆとりを持てるか分からないという人もいます。講座では、受講生同士が交流する時間を設けていますが、「みんな同じことで悩んでいたんだ」と、共感しあえることで、「すごく楽になった」と笑顔を取り戻していきます。

このように親が心のゆとりを取り戻せる場が地域が増えていくと、いじめなど子どもにかかわる問題を解決する大きな力になるはずです。



家庭教育講座講師・市社会教育委員 岡田 まり子 さん

心のゆとりを大切にしてほしい

特集

「いじめ」から子どもたちを守るために—— 家庭や地域の力

いじめを許さない緊急アピール「家庭・地域の取組み編」

【家庭の取組み】

- わが子の日頃の言動に気を配り、発するシグナルに注意する。
- ダメなことはダメ、できないことはできないとはっきり言う。
- 学校と協力して解決にあたる。

【地域の取組み】

- 多くの目で子どもを見守る。
- あいさつを積極的にしたり、ふれあいを増やしたりと、子どもが大切にされる地域づくりを進める。

※一部抜粋



こんな取組み いいね!

子育ての楽しさや悩みを共有する「親なびワークショップ」

「食事は、温かい雰囲気」「規則正しい生活を」「愛情たっぷり育てたい」。百合が丘小学校に、10月23日、保護者や教職員約50人が集まり、子育てで大切にしたいことなどが話し合われました。

これは、子育て講座「親なびワークショップ」のひとつ。和やかな雰囲気の中、子育ての楽しさや悩みを共有し、普段の子育てを見つめ直していただきたいですね。参加者同士でつながりをつくるきっかけにもなるんですよ。進行役を務めた原子どもの育ち推進課の東浦重人さん。

「いろいろな人の子育ての方法や向き合い方を知ることができたので、家庭でも生かしていきたい」と話すのは、六佐綾さん。百合が丘小学校のPTA役員でもあり、保護者と教職員が話し合う場「みんなでも語ろう会」(市内の各小中学校でも開催)の企画として、「親なびワークショップ」を取り入れました。「今後も教職員や保護者の皆さんと一緒に、子どもの成長にかかわっていききたいですね」と笑顔で話してくれました。



和やかな雰囲気、子育てについて話し合う

★県教育委員会では、ケータイ・ネット利用の研修を受けた保護者「ネット啓発リーダー」を養成。依頼に応じて、県内の小中学校などで「ネット啓発講座」を開催しています。「同じ保護者の立場なので話がかりやすい」と好評です。

- 持たせるときに
 - 家庭で必ず話し合おう
 - 本当に子どもにケータイが必要?
- 持たせるときに
 - 家庭のルールを決めよう
 - メールや掲示板にウソや人を傷つける内容は書き込みません。
 - 一口の利用は、○分まで。夜は○時を過ぎたら使いません。ーなど
- 有害サイトなどを見られないようにする「フィルタリングサービス」を利用しよう
- 持たせた後も
 - 子どもたちのケータイ・ネット利用を見守りましょう

